



[表紙の写真]

中学生模擬議会に参加した
中学生の皆さん

みぶ ぎがし

No. **190**

2019

R1

9月定例会

中学生が町政を問う

中学3年生13人による 中学生模擬議会を開催

町議会では10月5日、将来の壬生町を担っていく中学生に、まちづくりへの参画意識を高めてもらうことなどを目的に、中学生模擬議会運営委員会（田村正敏委員長）が中心となり、中学生模擬議会を開催しました。町内2校から選ばれた中学生議員が、自らの視点で町のあるべき姿を描きながら、一般質問を行い、町執行部がこれに答弁しました。

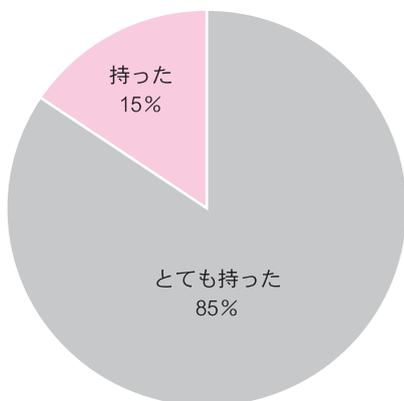


アンケート集計結果

参加した中学生議員にアンケートを実施しました。

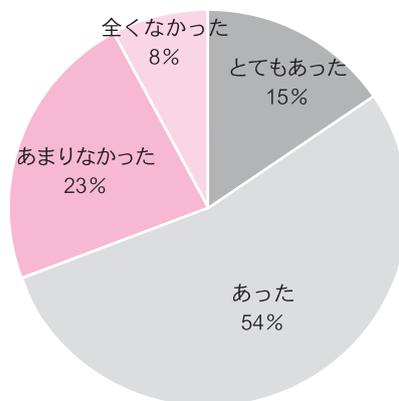
参加して

まちづくりに興味・関心を持ちましたか



参加前は

町議会に興味・関心がありましたか



中学生議員の質問内容と答弁要旨

あきくさ たいせい 1 秋草 大誠 (南犬飼中学校)	問 町として高齢者の医療費に対する政策はどのようなか。 答 働き盛り世代から健康を意識させる事業を始めており、健康長寿のまちづくりを目指しています。
いしげき てっぺい 2 石関 哲平 (壬生中学校)	問 放課後学習のボランティアを増やす計画は。 答 満足いただける環境を提供できるよう、さらにたくさん学習支援ボランティアを集めたいと考えています。
いのやましゆんいちろう 3 井ノ山 舜一郎 (南犬飼中学校)	問 学力向上のための取り組みはどのようなか。 答 授業のねらいを明確化すること、全教室へICT機器の整備、学力向上支援員の配置、補充学習の充実など12の施策を展開しています。
おちあい ひなた 4 落合 陽向 (壬生中学校)	問 観光に関する具体的な対策はどのようなか。 答 まち歩きツアーやおもちゃ博物館など、観光資源である「歴史」と「おもちゃ」を活用した企画や、SNSによる観光PRを行っています。
からほし ななせ 5 唐橋 七彩 (壬生中学校)	問 全ての世代に喜ばれるようなご当地グルメを作る計画は。 答 観光誘客を図るため開発した「壬生お殿様料理」の名物料理への発展や、町の魅力が集まる「道の駅みぶ」を中心にグルメ開発など満足度向上を図りたいと考えています。
すずき ひな 6 鈴木 陽菜 (南犬飼中学校)	問 町内にコミュニティバスを運行させる計画は。 答 デマンドタクシーも含め、どの形が本町のニーズに合うのか検討し、公共交通の充実を進めていく予定です。
たかだ りくと 7 高田 凌杜 (南犬飼中学校)	問 無料または低料金で利用できる自転車シェアリングを普及できないか。 答 おもちゃのまち駅のレンタサイクルを拡充し、壬生駅周辺及びみらい館で新たにレンタサイクル事業を開始しました。
たさき まさひろ 8 田崎 雅洋 (南犬飼中学校)	問 ゆうがおバスの宣伝方法について、町内の小中高生徒でポスターを作成し、町中に掲示しては。 答 下野市・上三川町を含めた1市2町の共通の取組みとして実施する必要があると、協議の中で提案していきます。
なばた めあいる 9 生田目 藍琉 (壬生中学校)	問 道路の危険な場所にカーブミラーや外灯を設置し、より安全安心な町にしてほしい。 答 自治会長さんと町で相談し対応していきます。今後も交通事故や犯罪のない安全で安心なまちづくりを進めていきます。
ふくだ 10 福田 さら (壬生中学校)	問 壬生中前の歩道橋の滑り止めを修繕してほしい。 答 県土木事務所に修繕の依頼をし、時期は未定ですが早急に修繕する予定になっています。
ほそうち けいと 11 細内 花衣音 (南犬飼中学校)	問 町のPR動画について、もっとインパクトのあるものにしては。 答 次回作成の際には、ご提案いただいたようなものになるよう、柔軟で新鮮なアイデアを取り入れていきます。
わたなべしょうた 12 渡辺 翔太 (壬生中学校)	問 学生や高齢者が利用しやすいバスを定期的に走らせては。 答 新庁舎オープンに併せて公共交通を充実できるよう、取り組みを進める予定です。



中学生議員の感想

しみずあやな
〈議長〉清水彩風さん(壬生中学校)

過去に経験をしたことがなかったので、自分の糧になりました。中学生議員の発言は、町を活性化させようという強い意志を感じました。議会に興味を持つきっかけになったので参加することができて良かったと思います。

アンケートの回答の中から、いくつか感想を紹介します。

- ・意見を是非実行してほしい
- ・町のさらなる発展のために、様々な考えを持ちたいと思った
- ・議会や政治が少しだけ身近に感じる事ができた
- ・中学生ならではの意見で、大人では気づきにくいところにも気づくことができるので、この取り組みはなくてはならないものだと思う
- ・時間が10分と短く、再質問する時間がなかった

9月 定例会

令和元年第3回定例会は9月2日に招集され9月19日までの18日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例の制定1件、条例の改正6件、工事請負契約の締結2件、人事案件2件、補正予算5件、決算認定8件、その他1件の25議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

一般会計決算

歳入

132億6,156万9,310円

歳出

126億7,852万3,122円

特別会計決算

歳入

96億7,494万2,023円

歳出

96億933万936円

○一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計については、起立採決により賛成多数で認定となりました。

○公共下水道事業特別会計・奨学資金特別会計・農業集落排水事業特別会計については、全議員一致で認定となりました。

○水道事業会計については、全議員一致で認定となりました。

よかった！ 壬力あふれる 壬生町ッ
住んでみたい！ 住み続けたい！ 住んで
平成30年度決算を認定

平成30年度はこのような事業に 予算がつかわれました（抜粋）



※1万円未満切り捨て

町長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。皆様の納めた税金が適正に使われたかどうか、3つの常任委員会が審査しました。

六美町北部地区 土地区画整理事業

8,125万円

排水管路及び樋管築造工事等



歴史観光 デザイン看板作成事業

425万円

県産材を使用した歴史解説看板を10箇所整備



産後ケア事業

19万円

産後うつや授乳ケアのための母子のショートステイやデイサービスを提供



下稲葉地区圃場整備 推進事業

1億814万円

経営体育成型の農地整備事業



放課後児童クラブ 施設整備事業

6,976万円

壬生小ベリーキッズ学童クラブの建設等



中央公民館改修等工事 (城址公園ホール)

6,106万円

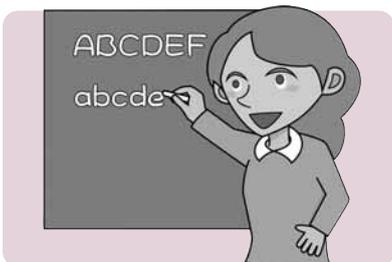
舞台照明機等の改修と、公民館北側に障害者用駐車場を整備



外国語指導助手(ALT) 配置事業

2,372万円

ALTを3人から7人に増員



公用車購入事業

3,188万円

中型バス1台と軽自動車1台を購入



防災行政無線維持管理事業

747万円

全国瞬時警報システム(J-ALERT)新型受信機の更新工事等



条例

森林環境譲与税基金条例の制定

森林環境譲与税が町に譲与されることに伴い、法令で定められた使途事業を確実に執行し、その実績を分かりやすく公表する体制を構築することを目的に、新たな基金を設置する条例です。

この基金は、町に譲与される森林環境譲与税の全額を一旦は当基金に積み立て、森林吸収源対策に係る人材育成、担い手の確保、木材の利用促進・普及啓発等の費用への財源に活用するものです。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正

本年10月からの幼児教育・保育無償化後の3歳から5歳までの給食費については、保護者の負担となることが原則ですが、年収360万円未満相当の世帯の全ての子ども及び第3子以降を対象に副食費を免除するという免除対象の範囲を規定するものです。

印鑑条例の一部改正

住民票等へ旧氏を併記できるようにするため、住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、印鑑条例の一部を改正するものです。

具体的には、本人からの旧氏併記の請求により住民基本台帳に旧氏の記録がされている場合には、旧氏での実印登録が可能となり、印鑑証明書も旧氏を併記し交付するものです。

また、婚姻等による改姓後も旧氏併記の請求により、改姓前の登録印鑑を引き続き使用することができるようになります。

契約

睦っ子児童クラブ建設工事請負契約の締結

学童保育の利用者増加に伴う待機児童解消のため、睦っ子小学校敷地内に1階定員40人と2階定員40人の専用施設を整備するものです。

社会資本整備総合交付金事業 公共下水道工事（北部第三排水区）請負契約の締結

近年頻発しているゲリラ豪雨

に対応するため、安塚南部地区の恒久的な雨水排水流末を確保する必要があり雨水管を整備するものです。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員を再任

令和元年9月30日をもって任期満了となる、大久保忠氏（安塚）の再任に同意しました。



人権擁護委員の推薦に同意

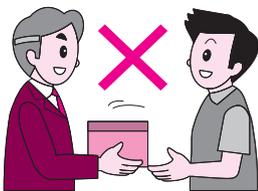
令和元年12月31日をもって任期満了となる、鯉沼玲子氏の後任として戸田光枝氏（本丸二）を推薦することに同意しました。



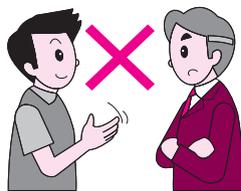
寄附の禁止

政治家（候補者、立候補予定者、現に公職にある者）と有権者とのつながりはとても大切です。しかし金銭や品物で関係が培われるようでは、いつまでも明らかな選挙に近づくことはできません。

三ない運動



政治家は有権者に寄附を
贈らない



有権者は政治家に寄附を
求めない



政治家から有権者への寄附は
受け取らない

「贈らない、求めない、受け取らない」という「三ない運動」を行なっています。

決算認定討論

議案第18号 平成30年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について



反対 各項目を見て評価する部分はありますが、全体として町民の生命と暮らしを守るために町が全力を尽くしているとは判断できないと考え、反対します。 (田部明男議員)



賛成 予算に配分された限りある財源を効率的、効果的に執行し、福祉の向上・町の発展に努め、当面する緊急な課題に取り組んだ成果がうかがえ、高く評価し賛成します。 (戸崎泰秀議員)

議案第19号 平成30年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について



反対 国に対して公費を国保に投入することを要求し、一般会計等からの繰入れを増やし、国保税を引き下げて、安心して医療を受けられるようにすべき。その施策が不十分と考え、反対します。 (田部明男議員)

賛成 適正な収入の確保と、支出の管理のうえ、厳しい財政事情の中、財政の安定化に努めている様子がうかがえることから、認定に賛成します。 (坂田昇一議員)

議案第22号 平成30年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について



反対 介護保険を社会保障の一環と位置付けて積極的に充実させる必要があるが、それが不十分であると考え、反対します。 (田部明男議員)

賛成 歳入については健全財政に努めており、介護保険料についても高い収納率を維持しています。歳出では、適正な保険給付と健全経営に努めていることから、認定に賛成します。 (赤羽根信行議員)

議案第24号 平成30年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について



反対 医療費を無理やり減らそうとするのではなく、予防医療を中心に積極的に医療にかかり安心して暮らせる制度を確立すべき。後期高齢者への医療が不十分であると考え、反対します。 (田部明男議員)

賛成 保険料収納率99%以上を維持しているのはきめ細かな対応や制度改善が行われているものと考えます。歳出では、広域連合との連携・協力を図りながら、制度の円滑な運営がなされていると判断し、認定に賛成します。 (後藤節子議員)

令和元年度 補正予算 (令和元年9月定例会可決)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計(第2号)	2億4,399万7千円	137億8,310万5千円	税収の減額計上と普通交付税の確定、並びに平成30年度決算に伴う財源の全体的な見直しを行うとともに、各事務事業の過不足額を計上したものの。 ・国民健康保険特別会計繰出金 1,155万4千円 ・子育てのための施設等利用給付事業 667万6千円 ・町道修繕事業 3,026万1千円 ・オリンピック聖火リレー実施事業 731万8千円
特別会計			
国民健康保険(第1号)	5,203万6千円	44億1,149万7千円	人事異動による職員給与費の補正及び平成30年度事業実績確定による精算額を計上したものの。 ・一般被保険者繰越金 2,124万5千円 ・国保連合会返還金 1,604万6千円 ・償還金 1,782万3千円 ・一般会計繰出金 3,026万9千円
公共下水道事業(第1号)	926万7千円	15億7,277万7千円	施設の適正な維持管理上、緊急を要する修繕工事費用等を計上したものの。 ・公共下水道事業債 540万円 ・終末処理場維持管理費 572万4千円 ・管渠築造費 561万円
介護保険事業(第1号)	6,786万5千円	30億7,815万2千円	平成30年度事業実績確定による精算のための所要額を計上したものの。 ・過年度分介護給付費交付金 6,183万4千円 ・介護保険基金積立金 3,379万1千円
後期高齢者医療(第1号)	256万8千円	4億6,382万8千円	職員給与費等及び口腔健診にかかる見込額を精査したほか、平成30年度事業実績確定による精算額を計上したものの。 ・広域連合納付金 210万6千円

決算審査総括意見（要旨）



代表監査委員
熱田 幸一 氏

とから、経常経費の抑制・削減に努めるよう求めました。また財政力指数については、0・056ポイント上がって0・780となり、引き続き新たな自主財源の創出、地道な税収等の確保に向けた取組みの必要性について、意見を付したところです。

これからの見込まれます。これらを踏まえ、今後の事業経営にあたりましては、企業債残高の縮減や効率的な事業の推進による費用の削減により、健全性の維持向上を要望いたしました。

「平成30年度壬生町一般会計並びに特別会計決算に係る審査及び基金運用状況に係る審査」、「水道事業会計決算に係る審査」、「決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の審査」について、各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも地方自治法等に準拠して作成されており、決算計数についても関係諸帳簿、証書類と合致しており、予算執行に関する事務処理は概ね適正であると認められました。

これからも、全庁を挙げて良質な町民サービスの提供に努めるとともに、これまで以上に堅実な行財政運営に取り組みることが肝要です。事業の選択と集中を図り、必要性のほか、経済性、効率性及び有効性などに十分配慮し、健全かつ持続可能な行財政運営と人材育成に努められるよう期待するところです。

決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率等は、実質公債費比率が前年度より0・3ポイント下がって6・1%で、健全化基準の25・0%を大幅に下回る比率となっております。その他につきましても、赤字額や負担額、不足額等は生じておらず、健全な財政運営が図られている事を確認し、是正改善を指摘すべき事項は特にないことを報告いたします。

町の財政構造は、経常収支比率については、前年度より0・3ポイント改善の88・2%となりましたが、依然として高い財政構造の硬直化が続いているこ

今後、大幅な給水収益の伸びは期待できない状況ではありませんが、南部配水場や、順次老朽化する施設や管路の更新、耐震化への対応に多額の資金が必要



議会選出監査委員
市川 義夫 氏

議案に対する賛否状況

※榎井聡議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	壬生町森林環境譲与税基金条例の制定について (森林環境譲与税が町に譲与されることから新たな基金を設置する条例を制定するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町運動場設置、管理及び使用条例の一部改正について (新庁舎建設に伴い総合運動場南運動広場が廃止となることによる条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町学童保育施設設置条例の一部改正について (学童保育に指定管理者による管理運営を導入し利用料金を設定するもの、また子育て支援センターつばめに安塚小第2学童保育館を設置することに伴う条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

議案に対する賛否状況

議案番号	議案名	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第4号	壬生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について (特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について (子ども・子育て支援法の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町印鑑条例の一部改正について (住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴う条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	壬生町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について (壬生町消防団員になることができないとする欠格条項から、成年被後見人及び被保佐人を削除する改正を行うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第8号	睦っ子児童クラブ建設工事請負契約の締結について (睦小学校校庭敷地内に睦っ子児童クラブ専用施設を整備するもので、大島建設工業株式会社と5,555万円で工事請負契約を締結するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	社会資本整備総合交付金事業 公共下水道工事(北部第三排水区) 請負契約の締結について (安塚南部地区に雨水管を整備するため、佐藤工業・稲葉建設特定建設工事共同企業体と3億470万円で工事請負契約を締結するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (大久保忠氏を再任することに議会の同意を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (鯉沼玲子氏の後任として戸田光枝氏を推薦することに議会の意見を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和元年度壬生町一般会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和元年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和元年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和元年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和元年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成30年度壬生町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成30年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成30年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成30年度壬生町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成30年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成30年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成30年度壬生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成30年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第25号	平成30年度壬生町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会 審査

各常任委員会は9月3日から13日まで、各会計予算の全般にわたり慎重に審査を行い、常任委員長が本会議で報告をしました。主な審査内容は、次のとおりです。



委員	副委員長	委員長
遠藤 恭子	中川 芳夫	市川 義夫
坂田 昇一	田部 明男	戸崎 泰秀



遠藤総務常任委員会委員長

総務常任委員会

消防団員の欠員数と年間の報酬額、出勤・活動状況は

現在、19人の欠員となっております。年間報酬は、団長が28万円、副団長が20万円、分団長が17万円、副分団長が16万円、各部の部長が12万5千円、班長が9万円、一般の団員が8万円となっております。出勤については、火災、水防、台風待機や、各部によって異なりますが、操法大会の訓練や、日頃から消火栓の確認や防火水槽の点検、草刈りなども行っています。

ふるさと応援寄付金事業の現状は

総務省からの指導による返礼品の引き下げにより、寄付額が以前より落ち込んでいる状況です。地場産品等に限られた為、人気の高い「おもちゃ製品」を返礼品に使うことが出来なくなっただけでも影響しています。

ふるさと応援寄付金の新庁舎建設への寄付件数と金額は

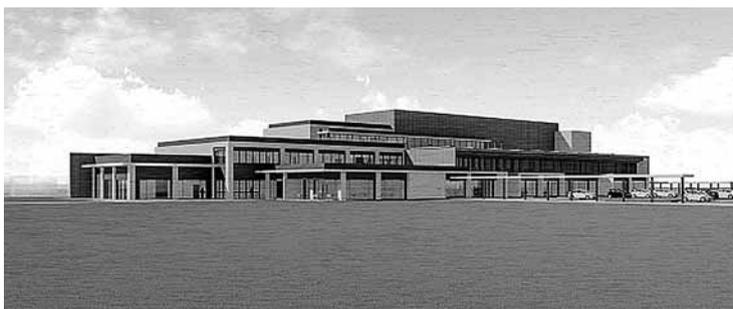
平成30年度は、22件134万円の寄付をいただきました。また、今年度に入ってから、約200万円の寄付をいただいているところです。

議長交際費の執行率が低い理由は

議長交際費は、支出基準を設け、その基準に沿って支出しています。主なものとしては、会議費で、平成29年度が17件だったのに対し、30年度は10件と件数が減少したことで交際費の額が減少しています。



操法訓練を行う壬生町消防団員



壬生町役場新庁舎イメージ図

教育民生常任委員会



田村教育民生常任委員会委員長

委員長 田村 正敏
副委員長 落合 誠記
委員 大島 菊夫
” ” 鈴木 理夫
後藤 節子



子育て世代包括支援センター ―事業の内容は

妊娠期から子育てまでの切れ目
ない支援を目的とし、妊娠届出時
の面接等を行っています。生活背
景から妊娠の状況、家庭状況を把
握し、必要なサービスを案内しま
す。出生した後も産後の状況を聞
き取りし、全戸訪問事業に繋げて
います。

児童虐待については

家庭相談員を配置し、通報があ
つてから48時間以内に対応してい
ます。他に要保護児童対策協議会
があり、児童相談所や警察・学校
など、関係機関と状況を相談しあ

っています。

聖地公園の整備状況は

現在2175区画整備されてお
り、平成30年度末の残区画数は約
290区画です。令和7年度には
不足する計算になるので、新しい
区画整備の際には、要望が増えて
いる合葬式墓地についても計画し
たいと考えています。

スポーツクライミング普及 促進事業は

1年間で約千人の登録者があり
ました。東京オリンピックの種目
にもなっていますし、壬生町は国
体のスポーツクライミングの開催
地でもあり、普及を図っていきたく
と考えています。



妊娠届出時の面接の様子



スポーツクライミング親子体験教室の様子

認知症への対応は

月1回、北と南の地域包括支援
センターでオレンジカフェを実施
しています。また、介護者サロン
という情報交換の場も提供してい
ます。

建設経済常任委員会



玉田建設経済常任委員会委員長

委員長 玉田 秀夫
 副委員長 小牧 敦子
 委員 榎井 聡
 ” 江田 敬吉
 ” 赤羽根信行



新食肉センター整備事業の
進捗状況は

工事は令和元年度で完成します。事業費補助金421万6千円は今年度で終了します。事業開始は令和2年4月を予定しています。牛の肥育は本町にはありません。

おもちゃ博物館の利用実態
と、住民が利用し易い施策
は

平成7年に開設して現在24年目です。入場料は大人600円・子供300円、平成30年度の入場者数は242,660人、入館料収入は7,981万1千円となっています。

平成23年度にリニューアル工事を実施して博物館機能の他に未就学児が来場できるようにキッズパークを整備しました。年間パスポート3,000円の利用者も増えています。3歳児以下は無料です。

町道保全事業については

土木管理、道路橋梁については、予算に計上した通り順調に執行しました。保全事業の減額については、国への要望に対して交付金が少なかつたのが理由です。

農業集落排水事業について
は

総務省からの通達で令和2年度までに公営企業になるようにとのことです。黒川東部の農集利用率は今年7月現在503人です。143戸で接続率42.7%になります。



おもちゃ博物館にある大型遊具「きんぐとくいーん」



整備された道路

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

行政評価制度導入の目的を問う

総務部長

行政課題に適切に対応し効果的な事業を行うため



江田 敬吉 議員

問 行政評価とは、事前の政策評価と実行後の結果評価が無ければ正しい評価ができないと思うが。

総務部長 前年度の取り組み

結果を評価(チェック)し改善(アクション)を行い、次の計画(プラン)に反映させて実施(ドゥー)をするPDCAサイクルの実践によるマネジメントを基本に、約400の事業

をローリングで毎年度約100事業ずつ評価対象にし、全ての事業の評価改善に取り組んでいます。

問 大学の先生を含む外部

評価委員会に、「郵送業務のバーコード化や高齢者見守り隊支援事業」を諮問しているが、諮問すべき事項が違うのではないか。

総合政策課長

内部評価した

約100事業の中から、町民目線で改善が見込まれる事業を基準に、コスト削減の余地があると思われる事業や単独事業、国・県の関与が少くない事業や民間サービスと重なっている行政責任・役割がはっきりしていない事業等を8つ選定し諮問しています。

問 主要事業と予算は一体として町議会に提案すべきですが、大型事業の総予算も工事期間も町議会には提案がない。町の考えは。

総務部長

各部局で評価結果に基づき各事業の改善内容を翌年度以降の実施計画及び予算要求に反映させ、重要な案件は議会全員協議会で説明し、最終的には予算議案の中で取

り組み方針を説明の上、審議して頂いています。大規模事業の導入前には実施計画及び予算査定の中で事業内容を精査し、実施後は決算審査及び定期監査での確認に加え、議会において決算内容の審議をして頂いています。

問 町議会の議案審議(本会議・常任委員会)は年間に三十日程度ですが、議員報酬額の支払い根拠を聞きたい。

総務部長

地方自治法に則り、町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を定め、議員報酬を支給しています。



行政外部評価委員会の様子

弱者に優しいサポート体制を

副町長 認知症の人やその家族を温かく見守っています



後藤 節子 議員

問 重度心身障害者医療費助成申請の償還払い方式を現物給付方式に。

副町長 窓口負担を無料にすることに由来するペナルティー問題が大きな課題です。

減額措置にたいして町単位で対応することは非常に難しい状況なので、医療費助成についての十分な措置が講じられるよう、機会あることに国・県にたいして粘り強く要望します。

問 選挙割りサービス奨励と「家族で投票所に行く！キャンペーン」等、親子向けイベントの開催を。

総務部長 現在、学校では、

により周知したいと考えています。

将来の有権者として政治参加への意識を身につけさせるため、選挙の意義や課題などを取り上げ、主権者として政治に参加することの重要性を理解させていきます。

今後、先進事例の情報収集などに努めたいと考えています。

問 認知症予防施策に生活習慣改善指導を。学校で一貫性のある認知症教育を。

副町長 北と南の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1人ずつ配置し、地域のサロンでの認知症予防講座などを通じて、予防に努めています。

学校教育課長 中学校で全ての生徒が認知症サポーター養成講座を受けられるよう取り組みます。

問 遺族が行う変更手続きの迅速化と窓口を一元化した「こ遺族手続きコーナー」の設置を。

住民課長 戸籍システムについて将来オンラインで各市町村を結ぶ計画で、処理時間を短くできると思います。尚、新庁舎ではワンストップサービスを検討しています。

無効票対策と若年層向け企画で投票率向上を

問 投票所への法定ビラ・候補者名刺・自筆メモの持ち込み可の周知を。

総務部長 今回の参議院議員選挙では特段行っていないが、今後、町ホームページ等

ご存知ですか？ オレンジドクター

とちぎオレンジドクターは、県に登録された「もの忘れ・認知症相談医」です。

チェック項目！

- 同じ話を何度もする
- 時間や日にちが分からなくなった
- だらしなくなった
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 慣れた道でもよく迷うようになった
- ささいなことで怒りっぽくなった

チェック項目に該当する項目がある場合や、認知症が疑われる場合などには、お早めに、お近くの「とちぎオレンジドクター」にご相談ください。

とちぎオレンジドクター

認知症は、早期に受診して、適切な治療やケアを受けることによって、症状を軽減したり、進行を遅らせることもできます。

栃木県 栃木県医師会

認知症の予防・発見・受診・治療の啓発チラシ

学校施設への防犯監視システムを早急に

教育長

さまざまな点を考慮しながら進めていきたいと考えています



赤羽根 信行 議員

問 学校施設への対応と設置状況は。

教育長 平成25年度、中学校

1校に4台の防犯カメラを設置しています。今後学校施設において、計画的・段階的な設置を進めていきたいと考えています。

問 修繕費予算は今後も増え続けると思うが、今後の対応は。

所や木陰、パーゴラなどの日陰を利用していただいています。

町長 既存施設の延命化を図りながら安全面を最優先にした施設の維持管理に努め、また来たい、また来ようと思ってもらえるような施設を目指して運営を継続していきたいと考えています。

問 防犯監視システムは犯罪やトラブルの防止、抑止力として有効と認識があるが町の考えは。

教育長 公共施設への防犯カ

メラの設置については、入館者等の年齢層や夜間の利用、犯罪の起こる可能性等の施設の特性、個人情報保護の観点などを考慮しながら進めていきたいと考えています。

問 町全体の公共施設等への設置状況は。

教育長 おもちゃ博物館に21

台、みらい館に9台、稲葉・南犬飼出張所に各1台ずつ、城址公園ホール・図書館に各4台ずつ、歴史民俗資料館に2台設置しています。

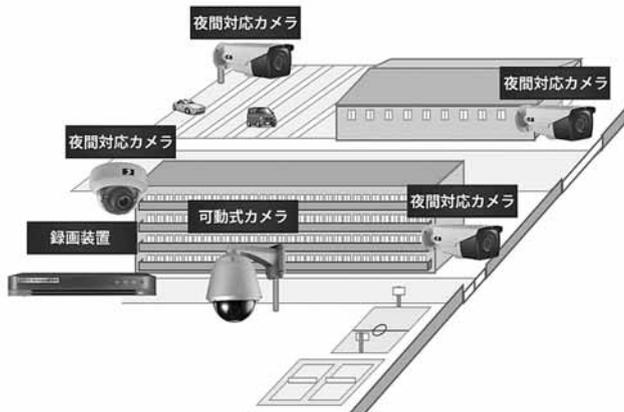
また、おもちゃのまち駅・壬生駅の地下道、安塚駅前広場、おもちゃのまち駅東口・西口広場、壬生駅東口広場に各2台ずつ設置をしています。

ふれあいプール管理事業の目的と効果は

問 猛暑による幼児、児童への熱中症対策は進んでいるのか。

町長 1時間ごとに10分の休憩時間を設け、さらに、2時

間ごとに気温及び各プールの水温を計測しています。また、場内放送や監視員等による来場者への注意喚起や、大休憩



犯罪等抑止効果が見込める防犯カメラ設置プランの一例

「不登校は悪いことではない」の周知を

教育次長 教育機会確保法の周知と不登校の未然防止・改善に努めています



小牧 敦子 議員

身になって初期対応をとっています。

問 民間のフリースクールとの連携は現在どのようか。

学校教育課長 現在のところ、各学校において積極的にフリースクール等の紹介は行っていません。ただ、保護者のほうからフリースクール等の相談があれば、各学校においてそのフリースクールと連携を図って、出席扱いにできるように調査等を行っています。

問 適応指導教室や、ゆうがおスタディアットホーム事業、フリースクールにおける出席扱いはどのようか。

教育次長 出席扱いにしています。

問 「高根沢町立フリースペースひよこの家」についての見解は。

教育次長 ひよこの家は現在のひばり教室の先進事例です。ひばり教室もこれまで以上に多くの体験活動を取り入れ、心の成長を図りながら、自主的に進学や学校復帰を果たせるよう取り組み、成果を上げています。

問 必ずしも学校復帰を目指さない、不登校は悪いことではない、とした趣旨の教育機会確保法。見解は。また、教職員への周知はされたのか。

教育次長 全国的に不登校が増加している現状において、まさに時機を得た、現在の教育事情になくはならない法律だと考えています。各学校長を通じて教職員に周知しました。

問 不登校になった直後、安易な学校復帰指導は本人を追い詰めてしまうこともある。現在の対応はどのようか。

学校教育課長 スクールカウンセラー等が面接して、どういった状況に原因があるのかを把握します。それに基づいて養護教諭、生徒指導、教頭、校長等を交えてプロジェクトチーム会議を開き、支援の仕方等を協議し、組織的に親

問 夜間中学についての考えはどのようか。

学校教育課長 県では協議会の設置に先立って夜間中学に関する連絡会議を開催しています。壬生町も参加してい

普通教育機会確保法

第十三条 国及び地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様な適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

県南広域的下水道整備事業から撤退すべき いかがか

建設部長 危機管理上 必要な水量の安定確保は水道事業者の努めです



田部 明男 議員

ティーをにかけておくことが重要と考えています。

交通政策を確立し、デマンドタクシーの充実を

問 稼働率約90%は限界だ。増便や時間延長すべきだ。

総務部長 庁舎移転を見据え、新たな公共交通ネットワーク

の検討に着手しています。壬生町地域公共交通会議でも意見や今後の利用需要を踏まえながら、運営方法について、改善を検討していきます。

問 熊本地震を例に、地下水が表流水より被害が大きいとの主張だが、震源地との距離によって被害は違う。冷静に評価すべきだ。

建設部長 地下水が地震等により汚濁した場合、供給配水ができなくなるため、代替水源の必要性があります。

問 地下水を一括りにすべきではない。表流水が被害を受ける可能性に比べ、地下水が受ける可能性は低い。

水道課長 地下水と代替水源の比率、バランスを考慮しながら検討していくのが、水道事業管理者の努めです。

問 地下水に表流水を混ぜている結城市を視察したが、表流水を混ぜると不味い。混ぜずに生活の質を維持すべきだ。

町長 災害時に、地下がだめなときは表流水、表流水がだめなときは地下水と、セーフ

問 公共交通政策を確立して、デマンド交通を位置づけるべき。

総務部長 公共交通空白地の解消を図るため、町内全域を対象にデマンドタクシーみぶまるを運営しています。

町外への移動手段として、J R宇都宮線方面への公共交通がないことから、本年10月より、下野市・上三川町・壬生町の1市2町をつなぐ広域連携バス「ゆうがおバス」の実証運行を始めます。



水を安定供給するため、連結を計画している壬生町の水道。(写真は中央配水場)

都市計画の進捗を問う

建設部長 組合総会が開催され事業が正式にスタートしました



落合 誠記 議員

人材確保の現状と展望を伺う。
 ③ 医療・介護サービス提供体制改革の進捗を伺う。

民生部長 ① 合計特殊出生率は平成29年の統計で1・23です。労働形態別配偶者のいる割合は、栃木県のデータでは、25歳から29歳までで約3割、30歳から34歳までで約6割、40歳から44歳までで約7割となっています。

問 県では横断歩道等での歩行者優先義務違反の取り締まり強化を行っているが、マナー改善に向けた啓発と対策を求める。

民生部長 壬生町役場が栃木

警察署からモデル事業所として委嘱を受けたところであり、職員が横断歩道での歩行者優先を徹底し、他の運転者の模範となることにより、町内の車両運転者の交通安全意識を向上させるよう推進しています。

問 ① 六美町北部地区土地区画整理事業における保留地の活用② 商業施設等引き合い状況を伺う。
 ② おもちゃのまち駅のエレベーター設置の要望に対する見解を伺う。

建設部長 ① 立地条件が良好

であることから、住宅系、商業系など、幾つかの企業から組合に対して打診がありま

り組んでいきます。② 周辺に医療施設が立地しており、必要性が高いと判断したことからエレベーターの整備に向けて東武鉄道株式会社及び栃木県と協議を実施しています。

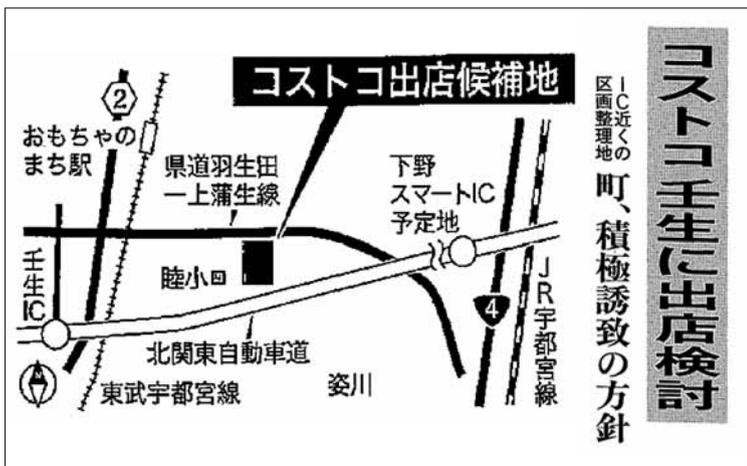
人口減少と医療・介護の確保を問う

問 ① 本町の合計特殊出生率と労働形態別配偶者のいる割合(男性)を伺う。

② 医療・介護・福祉分野の

② 栃木県では介護人材緊急確保対策事業を実施し、人材の新たな参入促進と円滑な就労、職場定着の推進を図っています。③ 町内医師や介護サービス事業所等、多職種で構成される壬生町地域包括ケアシステム推進協議会において協議し、在宅診療医師等で構成される「みぶの会」と連携しながら事業推進しています。

交通マナーの改善を求める



引き合いが活発化する六美町北部地区土地区画整理事業 (下野新聞9月20日付)

常任委員会の閉会中における所管事務調査報告

各常任委員会での調査結果について、9月定例会初日の本会議において、各常任委員長が報告しました。

総務常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「消防防災組織に関する事項」についての調査を実施しました。

総務課消防防災係から説明を受けたのち、質疑応答が行われました。

自主防災組織結成届時に経費に関係する補助金として、一律5万円を交付しており、事業の態様に応じて限度はあるが、かかった費用の2分の1を支払っています。

また、自主防災組織の設立に対し、住民への理解を深める方法については、設立にハードルを高く考えてしまいがちだが、まずは避難場所、避難経路の確認や炊き出し等が集まることから始めて少しずつレベルを上げていくことが重要であるという考えの説明を受けました。

防災士の資格取得の受講者負担金は1万4,300円（防災士の教本3,500円、受講料3千円、登録料5千円、旅費2,800円）を、最初に負担していただき、合格後に補助金として支払うことになっています。防

災士の合格率は再試験も含めると100%です。防災士がない自主防災組織も数多く存在しています。本町の防災士の人数は、自主防災組織を設立している地区に38人、設立していない地区に26人の計64人となっています。

今後、防災士の育成を図るため、消防署に勤めていた方は専門的な知識もあるので、防災士の資格取得を勧めたいと要望しました。

総務常任委員会
委員長 遠藤 恭子



教育民生常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「生活困窮者の自立支援について」の調査を実施しました。

まず、民生部健康福祉課より資料を元に、①生活保護についてと、②社会的孤立に対する現状と施策について、それぞれ説明を受けました。

生活保護は、例えば病気や高齢などで仕事を失ったなどして生活困窮状態になった場合に、一定の基準に従って金銭等を給付し、自立を援助する制度ですが、そこには様々な条件があると同時に、まずはそこに至らせないために生活困窮者自立支援相談員が対応しているという事でした。

また、ひきこもりなど社会的孤立については、様々な窓口を用意しているものの、まだまだ周知されておらず、効果が限定的だとのことでした。さらに、本人が支援を求めていなければ、行政側からのアプローチが出来ないという事でも、どんな些細なことでもいいので本人や家族から窓口へ

相談して欲しいとのことでした。

質疑を終え、委員会として、「相談窓口に向くだけでも勇気があることだと思おうので、ワンストップサービスを徹底し、本人に寄り添った対応をすること」や「様々な支援制度を困っている方々や周囲の方々に知ってもらうよう広く周知すること」を要望しました。

教育民生常任委員会
委員長 田村 正敏



新庁舎建設に意見書・要望書を提出

壬生町議会庁舎建設特別委員会では、新庁舎建設基本設計案に対する協議・検討を重ねてきました。今回、町議会の意見書と実施設計に向けての要望書として取りまとめを行い、町長に提出しました。

主な意見としては、適切なスケジュール管理による円滑な事業推進や議会中継ができる映像放送環境の整備などについて意見しました。



「ふるさとまつり」に参加



8月24日、町総合公園陸上競技場において、「ふるさとまつり」が開催されました。約3万5千人の来場者で賑わい、議員も「かんぴょう踊り」に参加し、たくさんの方々とともに汗を流しました。

また、夜空を彩る約5,000発の打ち上げ花火の壮大な美しさには、会場から歓声と拍手があがっていました。

「ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」に参加



9月1日、町総合運動場で「第28回ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」（町ソフトボール協会主催）が開催されました。

試合は19チームが参加し、親睦を深めました。好守巧打に一喜一憂し、盛り上がりには満ちた試合が展開されました。

議場コンサートのお知らせ

12月3日(火) 午前9時30分～(20分程度)

議会を身近に感じていただくことを目的に、12月議会の開会前に

とちぎ未来大使 くり た とも み
フルート奏者 **栗田 智水** さん

による議場コンサートを行います。
議会の傍聴と併せて、ぜひお越しください。

編集後記

台風19号により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

町議会では榎井議長指揮により、10月12日に緊急の災害対策本部が設置され、情報収集や現地調査などを行いました。その調査結果をもとに、特に復旧に関してはグレードアップを含む「改良復旧」を早急に求める要望書を小菅町長に提出しました。さらに、福田県知事に対しても同様の要望書を提出します。

今後も、住民の皆さまの安全・安心を守るべく、議員一同継続して対策をして参る所存です。

戸崎泰秀



議会広報 特別委員会

	委員	副委員長	委員長
”	”	員	
戸崎	田部	後藤	遠藤
泰秀	明男	節子	恭子
			赤羽根信行